

## (仮称) みさき農業公園基本計画策定委員会 (第2回) 記録

### 【開催概要】

○日 時：令和6年12月2日(月) 10:00~12:00

○場 所：岬町役場3階第2委員会室

○出席者(敬称略)：

所属	役職	氏名	備考
学識経験者	和歌山大学名誉教授	橋本 卓爾	
学識経験者	摂南大学農学部准教授	中塚 華奈	
岬町観光協会	執行役員	岩田 史子	
岬町農業委員会	委員	木下 喜久子	
道の駅みさき指定管理者(株)プラス	営業本部 店舗運営部 部長	前田 貢男	欠席
岬町自治区長連合会	会長	川端 修	
岬町商工会	会長	竹内 邦博	
大阪府泉州農と緑の総合事務所	所長	中塚 武司	
岬町林業活性化地区推進協議会	会長	貴治 林作	
南池土地改良区	理事長	森脇 郭巨	
大阪府森林組合 泉州支店	支店長	木下 茂雄	
淡輪西水利組合	理事	中塩路 吉彦	
公募委員		里中 正英	

### ●事務局

所属	役職等	氏名	
岬町 都市整備部	理事	吉田 一誠	
岬町 都市整備部	副理事	新保 太基	
岬町 都市整備部 産業観光促進課	課長	竹田 史子	
岬町 都市整備部 産業観光促進課	係長	大西 雄太	
岬町	政策情報顧問	白井 保二	
[委託業者] (株)地域計画建築研究所(アルパック)	チームリーダー	清水 紀行	
	チーフ	武藤 健司	
	メンバー	有田 建哉	

## 【議事内容】

### 1. 開会

### 2. 第1回委員会の振り返り

- ・事務局より、資料1「第1回委員会記録」の振り返りを行った。
- ・事務局から、第1回策定委員会で紹介された事例について、参考資料「第1回委員会の内容に関連する参考事例」をもとに（神奈川県秦野市・滋賀県竜王町、奈良県明日香村、大阪府大阪産（もん）スタートアカデミー）の詳細を紹介した。

#### ○事務局

- ・第1回策定委員会の議事録については、委員の確認後に公表を予定しているため、修正が必要な場合は、令和7年12月6日（金）までに事務局へ報告していただきたい。
- ・また、第1回策定委員会で委員から「対象地における土砂災害地域内の建物を建てる際の制限」について質問を受けていたが、建物の建築上の制約はないことを確認した。

### 3. 各種調査結果の報告

#### （1）地権者へのアンケート調査結果（速報）

- ・資料2「地権者へのアンケート調査結果（速報）」をもとに説明を行った。

#### <委員からのご意見>

#### ○委員

- ・遊休農地面積の最大値について、1,103a（約10町）と記載があるが、岬町内では広過ぎるのではないかと。数値が間違っている可能性があるため確認が必要である。

#### ○事務局

- ・単位を「㎡」と間違えて回答した可能性が考えられる。基本的に対象地の農地は小規模な農地が多い状況である。正確な数値は回答者に確認をしないと分からないため、速報版の報告ではこのまま記載している。

#### ○委員

- ・対象地内にある農地の広さ（大きいか小さいか）が分かるような図面があれば議論しやすい。可能であれば、地図内に農業公園整備に理解を示してくれる地権者が、どの場所にどれ程いるかが分かるものだとよい。

#### ○委員長

- ・地図の作成は、対象地の実態を確認する重要な資料になるため、作成をお願いしたい。

#### ○委員

- ・淡輪地域は農地が33丁ほどあるが、米を作っている農家は3丁程しかおらず、ほとんどが遊休農地である。
- ・農地面積の単位（a）について、「10a」であれば、「1反」や「300坪」などの単位で示してもらった方が理解しやすい。

○委員長

- ・その地域で何が作られているのか、また遊休農地がどのような状況になっているのかなど、農地の利用状況の実態が把握できるとよい。また、農地を貸出せる意向を持つ地権者がどれ程いるのかなども見える化できれば議論しやすい。

○事務局

- ・対象地の地図は、第3回委員会で提示できるよう検討する。
- ・農地面積の単位表記は「㎡」や「坪」で記載する方針に改めたい。

(2) 庁内団体等への追加ヒアリング調査結果

- ・資料3「町内団体への追加ヒアリング調査結果」をもとに説明をおこなった。

<委員からのご意見>

○委員長

- ・JA大阪泉州へのヒアリングについて、具体的に誰（何課）にお聞きしたのか。

○事務局

- ・JA大阪泉州の農政担当職員にヒアリングを実施した。

○委員

- ・南池土地改良区で管轄している農地の4割強が休耕地である。休耕地が進む農地では有害獣（イノシシ）が多発している。休耕地は岬町に多くあるが、岬町では、休耕地対策をどのように考えているのか。例えば、玉ねぎやハーブなどでモデルケースを作り、そのような取組に関わりたい人に休耕地を提供できるようにしてはどうか。岬町が目指す姿をモデルケースとして発信できるとよい。休耕地の情報発信については場所や農地の状況を写真で紹介できるとよい。

○事務局

- ・休耕地対策は町としても課題であると認識している。具体の取組案は次の議題で説明したい。

○副委員長

- ・アンケートの回答について、明らかな誤りが含まれている場合はその回答を除外して集計してもらいたい。
- ・自由回答欄で、「理想は、有機米や有機農法で、次世代の子どもさんや小学生に体験して貰える場になれば素晴らしいと思うが、60代で未経験なので、叶わない夢である。」という意見があった。実現したい思いはあるが、自分ではできない、あるいは方法がわからないという意見である。最近では、体験農園のノウハウを持たない農家に対して、実際に体験農園で講師をする方に教え方を学ぶ講習がある。「どうすれば体験農園が実現できるか」、その環境の整備についても検討することで、叶わない夢ではなくなるだろう。農家の中には「体験農園をしてみたい」という方がいる可能性があるため、その掘り起しもできるとよい。

○委員

- ・文字や数字だけでは分かりにくいいため、地図に落とし込んでいただきたい。
- ・地域計画では、現況地図と目標地図を作っている。地図には、「10年後に農業ができるか」や「地権者の貸出意向」についての情報が落とし込まれ、可視化しているため、連動できる可能性もある。

○事務局

- ・地域計画における目標地図は大阪府のバックアップもあり、概ね完成している。今回のアンケート結果でも見られるが、担い手の高齢化が顕著であり、「自身での耕作が難しい」といった回答が多い。地域計画では今月中旬に座談会を開催するため、そこで地域からの意見を聞き出し、当計画にも反映したい。
- ・アンケート結果の地図への落とし込みについて、59名の回答者のうち44名は調査票に記名を得ているため、回答結果と地図を紐付けすることは可能である。なお、対象地における地権者は全員で94名いるため、今回のアンケート結果により、地権者の約半数の回答結果と地図の紐付けができる状況である。

○委員

- ・農業公園として利用できる箇所の規模や分布状況によっては、計画の方向性が変わる可能性がある。その検討材料にするためにも地図が欲しい。

4. (仮称) みさき農業公園の基本理念・展開イメージ実現に向けたモデルプロジェクト

- ・事務局より、資料4「(仮称) みさき農業公園の基本理念・展開イメージ実現に向けたモデルプロジェクト」をもとに説明を行った。

<委員からのご意見>

○委員

- ・灌漑用水の状況はどうなっているのか。

○事務局

- ・対象地には南北に水路があり、東西にも網目状に繋がっているが、大きな水路は存在しない。取組内容によっては基盤整備が必要になる可能性があるが、現状では基盤整備までは考えていない。

○委員

- ・土壌についてはどのような状況か。放置している農地は土壌が痩せているのではないか。

○委員

- ・水利組合では、重要な箇所は草刈りや溝掃除を行い管理している。

○事務局

- ・モデルプロジェクト(案)で説明したとおり、「農地を貸してもよい」と回答があった農地については、取組を進める中で土壌調査なども進めたい。

○委員

- ・土壌を改良することはとても難しく、大量の堆肥を土に混ぜる作業が発生するため、まとまって堆肥を作ることが必要になる。現在、堆肥を作る際は、葉を燃やし、糠や動物の死骸を入れて作っている。
- ・岬町は都会に近く、交通のアクセス性がよいため、サポート付きの市民農園を実施してはどうか。革靴で来て収穫だけして帰るような内容でもよい。

#### ○委員

- ・農産物にこだわらず、ハーブの栽培をしてはどうか。休耕地対策としては微妙な案であるが、ハーブであれば外からも人が来るのではないか。神戸の布引ハーブ園では、多品種のハーブを作り、イングリッシュガーデンのように散策ができるが、このような他の地域がやっていないことを展開してはどうか。

#### ○副委員長

- ・神戸の布引ハーブ園の山裏には弓削牧場という牧場がある。都市部の住宅街の中で酪農をしているが、牛の糞尿の匂いを少しでも緩和することを目的にハーブを栽培している。
- ・熊本県産山村へ収穫体験に行った際に草焼きの手伝いもしたが、農家の方が草焼きをすることで獣害が減っていると聞いた。
- ・岬町内に獣害が増えていることや、農地が適しているか分からないなどの意見があったが、ハーブと山地酪農を組み合わせるモデル的に実施してはどうか。和歌山県海南市の黒沢牧場が山地放牧をしているため、黒沢牧場のモデル農場として岬町とタイアップしてもらえないか。草刈りや野焼きは、「岬町を守っている」という責任感を持ったボランティアを募ることができないか。このように、すでに先進的に動いている事業者などに岬町に来ていただき、モデルプロジェクトとして何が適しているのかを見極める方法もある。

#### ○委員

- ・アンケート結果からも耕作意向がある人は少ないため、農業者以外の方が気軽に農業の楽しさを感じてもらえるような方向で進めるのがよいのではないか。収穫が伴い、かつ簡単に作れるものが適しているのではないか。

#### ○委員

- ・予算について、前回の委員会では「国の補助金を得るためには新しい機能（新規性）を付ける必要がある」という説明があったが、今回の資料での新しい要素はどこになるのか。
- ・また、西陵古墳を活かした農業公園は考えられないか。
- ・資料内では岬町内でブルーベリーを頑張っている人が取り上げられているが、アンケート内容でパイナップルという項目があった。パイナップルは、暑い気候でなければ栽培は難しいと聞いているが、気候変動の影響もあるため、岬町でも実現可能性があるのではないか。

#### ○事務局

- ・国の補助金は、必ずしも新しい機能が必要ということではなく、すでに取り組んでいるケースでも対象となることはある。国の計画や補助対象に沿ったメニューを検討する形で進めていけばよいと考えている。ただし、岬町は農業振興地域ではないため、他の市町と比べて、補助金の対象となるハードルが高くなる現状がある。
- ・西陵古墳の活用方針や展開策は現段階では決まっていないが、全国的にもめずらしい場所であるため、農業公園や農業振興と連携できないかなどは引き続き検討していきたい。
- ・パイナップルについては、取組の中で検討したい。

#### ○副委員長

- ・パイナップルについて、日本では主にベトナム料理店などで提供している青パイナップルを栽培するケースが多い。

○委員

- ・古代米を古墳周辺で栽培してはどうか。

○委員

- ・古代米は、古墳近隣で作っているが、1反程度しか栽培していないため年内に全て売れてしまう。
- ・使用している古代米は、古代米は河内長野にある酒造企業が大阪府立大学に資金を出して、大阪府立大学が20年程かけて開発したものである。そのため、大学と酒造企業が古代米の育成者権を持っており、稲作場所を増やすことができない現状がある。
- ・コロナ前は、小学生を古墳に招いて勉強会を実施していた。取組を再開したいとため、農業公園とも関連付けたい。

○委員

- ・岬町でも観光と農業を組合せた取組を進めるべきである。

○副委員長

- ・東大阪市や寝屋川市では、黒米、赤米、緑米を使って田んぼアートを行っている。
- ・例えば、岬町でも田んぼアートに取り組み、ドローンを飛ばして写真で撮れば、山や海もありよいのではないか。

○委員

- ・普通の古代米は多奈川町でも作られているが、商工会が行っているプロジェクトは大阪府立大学と岬町が提携し、大学から種を貰って稲作しているため、種を増やすことは難しい。
- ・淡輪では過去に「どぶろく（マッコリ）」を作っていたが、現在は作っていない。マッコリを作るためのお米を作れるとよいのではないか。

○委員長

- ・「農業公園では、どのような方をターゲットにすべきか」についてご意見をお聞きしたい。

○委員

- ・町内だけではなく、町外にも視点を向けるとよいのではないか。岬町は交通利便性がよい環境にあるため、府外やインバウンド客もターゲットにできる可能性がある。将来的に移住をしたいと考えている層の獲得も視野に入れてもよい。

○委員長

- ・子どもやその親、家族を巻き込むようなイメージはあるか。

○委員

- ・電車に乗って来る人はターゲットになり得る。家族での体験農園がよいと思う。
- ・休耕地対策として何かできることがないかを検討いただきたい。「就農に興味はあるが、農地がない」といった悩みには何とかしたい。例えば、農業体験をするために農業組合と提携するなど、個人（農家）の負担を減らしてはどうか。

5.（仮称）みさき農業公園基本計画の目次構成（案）

- ・事務局より、参考資料2「(仮称)みさき農業公園基本計画の目次構成(案)」をもとに説明を行った。

<質問・意見>

○委員

- ・今回のアンケート調査に回答されていない地権者に対する追加調査は予定しているのか。

○事務局

- ・今年度中の追加調査は予定していないが、来年度以降に検討したい。

## 6. その他(次回の開催日程)

○事務局

- ・第3回以降の策定委員会は、来年の1月、3月の実施を検討している。当委員会の日程は後日改めて日程調整して決定したい。

○委員長(和歌山大学名誉教授)

- ・第3回は1月の後半という認識でいいか。

○事務局

- ・1月後半で調整したい。

以上